

エキスパートメンバーの参加により CCIE Voice は現場の問題を反映

シスコ技術者認定
Learning Network ケース スタディ

概要
Jason Young CCIE Voice CCIE #8607
役職 Voice Principal and Senior Consulting Engineer
企業名 CBTS (Cincinnati Bell Technology Solutions)
業種 IT および通信サービス
課題 キャリア開発、継続的な教育
ソリューション Cisco Network 認定プログラム
プロフェッショナルとしての利点 <ul style="list-style-type: none">• 業務における複雑な課題を解決• 確実なキャリア アップを実現• 重要な職責を拡大• Cisco CCIE Voice Job Task Analysis チームの貴重なメンバー

シスコとの長期「パートナーシップ」

「キャリアを通じてずっと、シスコが自分のそばにあったような気がします」。CBTS (Cincinnati Bell Technology Solutions) で Senior Consulting Engineer 兼 Voice Principal として働く Jason Young は言います。彼は 1999 年に高校を卒業してすぐに、シスコ機器を扱う小さな ISP に入社しました。仕事は難しいものの面白く感じていました。そして包括的なソリューションを習得できるシスコのアソシエイト・プロフェッショナル認定の勉強を始めました。「他のベンダーは部分的なものを個別に提供するばかりで、VoIP、ルーティング、スイッチング、ワイヤレスなど、全体を網羅しているのはシスコだけでした。デスクトップからインターネットにいたるまで、シスコには全てがあります」と彼は言います。

Cisco Certified Network Professional (CCNP®) 認定を手にし、次のステップに進むときが来ました。Jason は大手ビール会社の Anheuser- Busch で契約社員の座につきました。Jason は言います。「鍵となったのは CCNP です。私には大学の学位はありませんでしたが、必要な経験と知識を持っていることをこの認定が証明してくれたのです」。認定はさらに、彼が厳しいコース学習やラボ実習で技術的能力を向上させる意欲があることも示していました。

次の段階へレベルアップ

Anheuser-Busch に在職中、Jason は Cisco Certified Internetwork Expert (CCIE®) Routing and Switching 認定を目指すことでキャリアの次の段階に進むこととなりました。

CCIE 認定は業界で最も権威のある IT 資格の 1 つとして世界的に認知されています。CCIE エンジニアはそのネットワーク スキルの専門性とシスコ製品に精通していることで高く評価されています。技術的に最も困難な仕事をアサインされ、またそれによって業務チームのリーダーと目されています。

Jason はその後、シスコ チャネル パートナーである電気通信サービス プロバイダーに転職しました。「当時は Voice over IP (VoIP) が普及し始めたばかりで、Cisco CCIE Voice 認定の取得を目指すことが自分にとっては自然な流れでした」と彼は言います。

CCIE Voice 認定は音声ネットワークおよび音声設計エンジニアの実務に具体的に沿ったものです。エンジニアは次の業務を担当します。

- 新しいコラボレーション環境の設計
- 複雑なエンドツーエンド IP テレフォニー ネットワーク、ユニファイド コミュニケーション アプリケーション、ビデオトラフィック環境の導入とトラブルシューティング
- 業界標準の設計指針およびプロセスに従い、お客様の VoIP インフラストラクチャ、ユニファイド コミュニケーション アプリケーション、ビデオ ソリューションを構築

チャネル パートナーはシスコが提供する最大の利点とリワードを獲得する資格を得るために、所定人数の CCIE 認定エンジニアを雇用する必要があります。チャネル パートナーである Jason の雇用主は、彼が受験する 2 時間の CCIE Voice 筆記試験、8 時間の CCIE Voice ラボ試験の費用を負担しました。Jason は CBTS の Voice Principal 兼 Senior Consulting Engineer という現在の役職に就くにあたり、この認定が重要な要因であったと話しています。CBTS は Cincinnati Bell グループの一社で、企業にデータセンターやクラウド サービスを提供しています。

エキスパートメンバーの参加により CCIE Voice は現場の問題を反映

シスコ技術者認定
Learning Network ケース スタディ

「CCIE 試験を受けたときの印象は、出題内容が確実にお客様が依頼してくるであろうものに即しているということです。この認定は現場を反映したものでしたが、今ではその理由が分かります」

— Jason Young, Senior Consulting
CBTS, Engineer 兼 Voice
Principal

CCIE 認定試験を意味のある最先端のものに

「テクノロジーが発展するスピードが速いので、それに遅れないようにするのが、IT プロフェッショナルとして最も苦勞していることです。以前は複数の分野で後れを取らないようにすることも可能だったかもしれませんが、でもそれはもう過去のことなのです」と Jason は言います。

この問題に対応するため、シスコは長年個別の IT テクノロジー向けのキャリア パスを提供してきました。ネットワーク エンジニアは、ルーティング & スイッチング、音声に加え、データセンター、セキュリティ、ワイヤレス、サービス プロバイダー、ネットワーク設計などの専門分野でも認定取得を目指すことができます。

シスコはオンライン ブログの提供や Web セミナー、シンポジウムの開催を通じ、専門能力の開発を推進しています。最もよく知られているのが Cisco Live! カンファレンスでしょう。これは世界中の地域拠点で開催されています。毎年何万人もの IT ・通信のプロフェッショナルが、トレーニング イベントに参加しています。Jason は Cisco Live! は自分にとって非常に有益であり、トレンドに遅れず、プロフェッショナルとしてのネットワークを拡大するために、年に少なくとも 1 回は参加するようにしていると話しています。

継続的な技術向上の一環として、Jason は招待者のみを対象として行われる Cisco VoIP 製品 ベータ テストに参加しています。製品が販売に向けリリースされる前に、シスコの R&D エンジニアに対して現場に即した貴重なフィードバックを提供する、世界中で厳選された人物の 1 人なのです。

Jason はまた、招待者のみの Cisco CCIE Voice Job Task Analysis (JTA) グループの一員でもあります。「CCIE 試験を受けたときの印象は、出題内容が確実にお客様が依頼してくるであろうものに即しているということです。この認定は現場を反映したものでしたが、今ではその理由が分かります」

JTA グループは今後の CCIE Voice 試験で評価される能力の定義に関わっています。つまり、出題内容を決定しているのです。CCIE Voice JTA のメンバーとして、Jason は世界中から集まった IT プロフェッショナル、シスコ社員、そして業界の専門家と定期的に会議をし、CCIE Voice 試験が確実に現場での最新の課題を反映するよう、詳細に検討しています。Jason は言います。「1 週間にわたる会議は、非常に優秀な人々と経験を共有するまたとない機会となっています。業界のトレンド、特に米国からは遠く離れた市場について知ることができます。これはお客様のためにどんなことに留意すべきかを把握するにあたり、とても役立ちます」

またテクノロジーがさまざまな文化やニーズに適応した形で採用されることも興味深く思っています。たとえば、ヨーロッパでは失礼にあたるということでボイスメールを使う人はいないそうです。そのため、電話はずっと鳴り続けるようプログラムされています。

CCIE Voice JTA メンバーは認定の内容に直接影響を及ぼすことができるという満足感が得られます。グループはまず前回の試験を見直し、古くなった内容を削除し、新しい、または発展途上の課題を追加します。この過程で多くの意見交換がなされます。

エキスパートメンバーの参加により CCIE Voice は現場の問題を反映

シスコ技術者認定
Learning Network ケース スタディ

「シスコ認定が履歴書にあった場合、それには重みがあります。それがプロフェッショナルとしての経験とノウハウをはっきりと示すものだからです。IT部門がこれらの認定を使って応募者を選抜するのには理由があるのです」

— Jason Young, Senior Consulting
CBTS, Engineer 兼 Voice
Principal

Jason は言います。「私たちが毎日直面する問題が試験に反映されているため、認定は最新の状態で、また意味のあるものであり続けています。これは出題者が研究室で想像したのではなく、変化の激しい現実世界で IT プロフェッショナルが行っていることを反映しているのです」

JTA セッションからのフィードバックは Cisco 360 Learning Program for CCIE Voice にも反映されています。このプログラムは能力の向上を促進し、CCIE Voice 認定取得に必要なスキルを獲得するために設計された、包括的なブレンデッド ラーニング型の学習カリキュラムを提供しています。JTA チームのコメントはベンチマークやベスト プラクティスの確立に役立っています。受講生は模擬試験のスコアを実際の CCIE Voice プロフェッショナルの標準スキル レベルと比較できます。また、8 時間にわたる段階別試験で JTA メンバーのコメントを含んだ、修正、改善のヒント、ベスト プラクティスについての説明を含むパーソナライズされたスコア レポートを受け取ることができます。

初級 IT プロフェッショナルへのアドバイス

Jason は、高校で受けるコンピュータの授業は非常に汎用的なものであると指摘しています。社会人になったばかりの人は、これらの認定は現場でのやり方に関する知識を検証するために作られているということを理解することが重要です。

また、最低でもプロフェッショナルレベルの認定を目指すようにも言っています。このレベル以上が市場で実際に意味を持つからです。職場やコミュニティ カレッジなどで機会があれば独習も可能であり、トレーニングの受講は必須ではないとも言っています。

彼は言います。「シスコ認定が履歴書にあった場合、それには重みがあります。それがプロフェッショナルとしての経験とノウハウをはっきりと示すものだからです。IT部門がこれらの認定を使って応募者を選抜するのには理由があるのです」

詳細情報

シスコは Cisco 360 Voice 利用の有無に関わらず、CCIE Voice プログラムの受験を考えている方にさまざまな情報を提供しています。CCIE Voice の詳細については、まずは Cisco.com を確認してください。その後、Cisco Learning Network から勉強会への参加や練習問題に挑戦することもできます。Cisco Learning Network はソーシャル ラーニング コミュニティです。シスコの認定資格を通じた IT キャリア構築に関心がある人々に学習ツール、トレーニング リソース、業界ガイダンスを提供することを目的としています。

©2014 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1209R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先